

作品名 記憶・大地
a remembrance, the earth

作者 山本 鍾互 YAMAMOTO Shogo
寸法 250(幅)×60(奥)×250(高さ) cm
展示場所 文化の家

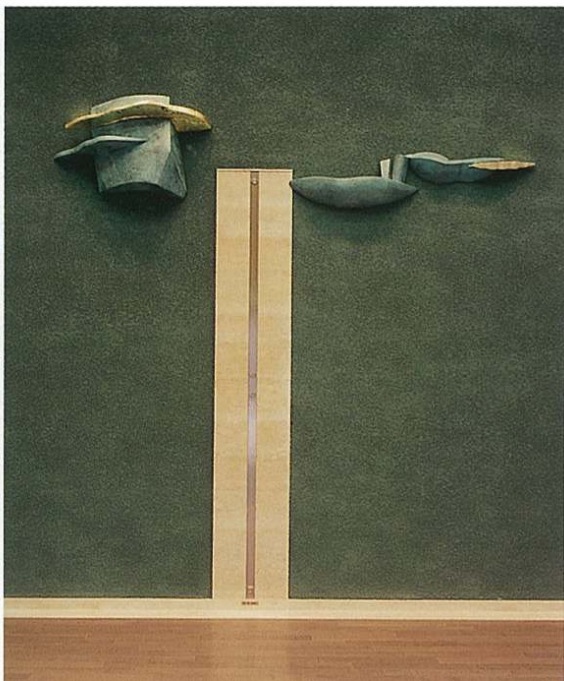
■作家歴

1946埼玉県生まれ
東京芸術大学美術学部工芸科卒業
東京、京都、福岡等にて個展多数
東京都立大学工学部棟アートスクリーン制作
ワールドビジネスガーデンエントランスホール制作
(千葉県幕張新都心)

■コメント

幼年時代からいつも見慣れている風景や形を、ある時以後忘れてしまったり、その地から離れてしまっても、何かのきっかけで鮮明に思い出したりすることがあります。それは、音や香りについても同様で、一種の心の安定を求める自然な働きでしょう。

森のホールに来るとき、何かを探して、何かにひかれて来ますか。楽しい空間にただよう、人々の記憶と息づかい。そうしたことを表現しました。



作品名 風・物語り
a wind, the, fable

寸法 280(幅)×24(奥)×60(高さ) cm
展示場所 文化の家

■コメント

たとえば花に吹く風、建物の隅で舞う風…、いろいろな風がどこかに集まってその経験をおしゃべりしたり、歌ったりしているように思えます。目の前にあるものは、いつかそうして全く違うところで、別の形に生まれ変わったりしてゆくことなどあるかもしれない。川のせせらぎは屋根の瓦に、木の葉は鳥の衣装に。

大地は人間の営みをすべて受け入れ、それを見守っている。人は”記憶”ということで歴史をふり返り、”物語”を作り出し、人に伝え、未来を信じて生きる。大地は風を起こし、人は風に吹かれて、夢をかたり続ける…



作品名 うつろひ
UTSUROHI—a moment of movement

作者 宮脇 愛子 MIYAWAKI Aiko
寸法 500(幅)×500(奥)×200(高さ) cm
展示場所 文化の家

■作家歴

現代日本彫刻展(北九州市立美術館賞)
ヘンリー・ムーア大賞展(特別優秀賞)
東京野外現代彫刻展(東京都知事賞)
ほか、国内外で個展・グループ展多数

■コメント

この作品について忘れることのできないのが、長久手町の小鳥である。数人で作業をし、その設置がほとんど終わり、仕上がったな、とほっとした瞬間に、ワイヤーに小鳥がとまって、そのゆらゆらしたゆらぎを楽しんでいるではありませんか。あの鳥はどこから眺めていたのでしょうか。